

## ゴミは適正に処理しましょう ～河川ゴミの実態調査の結果について～

福島河川国道事務所では、日頃から河川のゴミ対策を実施しています。もちろん、市民のみなさんにお願いしながら、不法投棄を絶対に許しません。また、河川沿いの荒川など、ゴミのたまり場となる場所を調査し、その結果についてお知らせいたします。

1. 主旨  
河川沿いの荒川など、ゴミのたまり場となる場所を調査し、その結果についてお知らせいたします。

2. 実施  
  - ① 実施場所：阿武隈川（福島市渡利水辺の楽校）  
実施団体：水辺の会 渡利・渡利小学校児童（参加者133名）  
実施日：5月28日（金）
  - ② 実施場所：荒川（福島市あづま橋～荒川第5堰堤付近）  
実施団体：荒川づくり協議会外一般市民（参加者約1,000名）  
実施日：5月29日（土）

### 3. 調査結果 ・分別結果

阿武隈川(渡利水辺の楽校)							単位:kg
発生源別分類名	生活ゴミ	農地ゴミ	河川利用ゴミ	自然ゴミ	不法投棄	その他	合計
H22年度	22.8	0	0	1.5	0	0.4	24.7
H21年度	20	3	1	20	0	0	44.0

  

荒川							単位:kg
発生源別分類名	生活ゴミ	農地ゴミ	河川利用ゴミ	自然ゴミ	不法投棄	その他	合計
H22年度	54	25	2	20	110	0	211
H21年度	95	51	7	5	100	0	258

### ・特徴

- ①阿武隈川「渡利の水辺の楽校」付近は、生活ゴミ（菓子袋、空き缶、ペットボトル）が目立ちました。
- ②荒川は上流に不法投棄のゴミ（テレビ、タイヤ、鉄くず）が多く見られました。中流には農業用ビニール、さらに下流になるにつれて生活ゴミが多くなっています。
- ③今回のゴミを処分する際に発生するCO2は56.11Kgになります。これはレジ袋をもらわずに買い物袋を使用した場合の年間削減量（約58Kg）とほぼ同等です。
- ④昨年と比較してゴミの発生量は減少しています。引き続きゴミの減量化に向けてご協力をお願いいたします。

記者発表先：福島県政記者クラブ 福島市政記者室

(問い合わせ先) 国土交通省 東北地方整備局  
福島河川国道事務所 河川管理課長 森 禎一 (内331)  
Tel 024-546-4331 (代表)  
fax 024-546-8852

## ゴミ分別調査の結果

阿武隈川(渡利水辺の学校)

単位:kg

発生源別分類名	生活ゴミ		農地ゴミ		河川利用ゴミ		自然ゴミ		不法投棄ゴミ		その他	合計
数量	22.8		0		0		1.5		0		0.4	24.7
主なゴミの種類	菓子袋等	20.6					流木等	1.5			鉄材	0.4
	ペットボトル	0.4										
	缶	1.8										

荒川

単位:kg

発生源別分類名	生活ゴミ		農地ゴミ		河川利用ゴミ		自然ゴミ		不法投棄ゴミ		その他	合計
数量	54		25		2		20		110		0	211
主なゴミの種類	缶	5	ビニール	25	つりざお	1	流木等	20	テレビ	5		
	ビン	4			花火	1			自転車	5		
	ペットボトル	3							タイヤ	30		
	プラスチック	2							ホイール	3		
	生活ゴミ	40							キャップ	5		
									ヘルメット	2		
								鉄くず	60			

渡利水辺の楽校



不法投棄ゴミ



廃棄物のCO2排出量

項目	使用量 × CO2排出係数 = CO2排出量					
ゴミ(可燃)	60	kg	×	0.34	20.4	kg
アルミ缶	96	個	×	0.17	16.32	kg
スチール缶	198	個	×	0.04	7.92	kg
ペットボトル	136	個	×	0.07	9.52	kg
ガラス瓶	17	個	×	0.11	1.87	kg
牛乳パック	0	個	×	0.16	0	kg
食品トレイ	10	個	×	0.008	0.08	kg
CO2排出量の合計 (二酸化炭素換算)					56.11	kg

※廃棄物リサイクル値については環境省の資料によります。

生活ゴミ

